

平成22年度埼玉県推奨図書審査票

〔対象区分： 乳幼児向け 〕

諮問番号	図書名等	内 容	推奨の有無
1301	おふとんかけたら ブロンズ社 893円 かがくいひろし/著	おふとんのなかに たこやソフトクリーム、トイレトパーパーがはいったら、どうなるか…？さいごは、「おふとんさんとまくらさん おふとんかけたら めーくめく おやすみなさい」ページをめくるのが楽しい絵本。	
		推奨図書選定理由	
		おふとんの中に、タコやソフトクリーム、トイレトパーパーが入ったら、どうなるか…。最後は「おふとんさんとまくらさん おふとんかけたら めーくめく おやすみなさい」と、きちんと終わる形になっている。あたたかいタッチの魅力がある絵。繰り返しのリズムが心地よく、幼い子から楽しめる、思わず笑顔になってしまう絵本。	
1302	じゃぐちをあけると 福音館書店 840円 じんごうすすむ/作	じゃぐちからでるみずに てやこップ、スプーン、フライパンをあてると、どうなるかな？チュッ！パンヤーン！うちゅうせん、うみにもなる。よむと、みずあそびがしたくなる絵本です。	
		推奨図書選定理由	
		蛇口から出る水に、子どもの手やコップ、スプーン、フライパンを当てて、水の変化を楽しむ絵本。水の動きが生き生きして、チュッ！パンヤーン！、宇宙船、丸い屋根、海など、子どもが思わず真似したくなるようだ。表紙が蛇口を下から見上げたアングルで、子どもには身近に感じられ、大人には新鮮。	
1303	ねえ、どれがいい？ 評論社 1,500円 ジョン・バーニンガム/作 まつかわまゆみ/訳	「ねえ、どれがいい？へびにまかれるのと、サカナにのまれるのと、ワニにたべられるのと、サイのしたじきと。」えらぶのに、こまることばかりだけど、えらぶのがたのしい。きみなら、どれをえらぶ？	
		推奨図書選定理由	
		「へびにまかれるのと、サカナにのまれるのと、ワニにたべられるのと、サイのしたじきになるのと、ねえ、どれがいい？」ありえない質問、選べない答え、難しい選択を楽しむ絵本。幅広い年代の読み聞かせに向いている。原作の文に忠実に訳されている、1983年に出たロングセラー絵本の改訳新版。	
1304	もっとおおきなたいほうを 福音館書店 840円 二見正直/作	おうさまときつねが、かわをはさんで たいほうくらべ。おおきな、はでなの、おもしろいの、かるいの…。いろいろなたいほうを、でてくるよ。おうさまときつね、さいごはどちらがかつのかな？	
		推奨図書選定理由	
		王さまときつねが川をはさんで大砲くらべ。どんでんエスカレートしていくが、きつねの大砲は枯葉に魔法をかけたにせものだったので、たかさんの大砲が残ってしまった。残った大砲の使い道も示されている。ユーモアたっぷり、ページをめくるのが楽しい。文章も簡潔で無駄がなく、読み聞かせにも向いている。	
1305	やまのバス 佼成出版社 1,365円 内田麟太郎/文 村田エミコ/画	あしたからなくなる やまのバス。「だれでもいいからのってくれたら、バスはなくなるのになあ」うんてんしゅさんのつぶやきをきいた やまのどうぶつたちが、つぎつぎにバスにのりこみます。おれいは、カキやくりやきのこです。さあ、やまのバスはどうなるでしょう？	
		推奨図書選定理由	
		廃線が決まった山のバス。誰でもいいから乗ってくれたらという運転手さんのつぶやきに、動物たちが山の幸を持ってバスに乗り込む。山の幸が好評で、バスが残されるラストが心温まる。白黒を基調とした木版画で、少ない色彩が効果的に使われており、日本の田舎の風景がよく表現されている。	

平成22年度埼玉県推奨図書審査票

〔対象区分： 小学校低学年向け 〕

諮問番号	図書名等	内 容	推奨の有 無
1306	ないしょのおともだち ほるぷ出版 1,680円 ピバリー・ドリフリオ/文	同じ家に住んでいる少女マリーとネズミ。知らない同士が、ある晩顔をあわせ、それから毎日手を振る、ないしょのお友だちになった。そして、その娘たちも同じように、ないしょのお友だちになるという、くりかえしの文の中で想像が膨らんでいく。	
		推奨図書選定理由 少女とネズミの子。知らない同士が、ないしょのお友だちになっていく様子を、細部まで書き込まれた絵を追いながら、想像を膨らませて読んでいくのも楽しいお話。	
1307	しまうまのしごとさがし PHP研究所 1,255円 トビイ ルツ/作・絵	「大きくなったら何になりたい？」と聞かれたしまうまの子が、「ほくにもびつたりの仕事が見つかるかな。」と町へ行き、様々な職業の動物たちに出会いながら、「仕事を見つけるとはどういうことなのか」を考えていく。	
		推奨図書選定理由 「きみはとくいなことであるのかい？」「好きなことであるかしら？」「自分のことをよく観察して研究するのも大切じゃよ。」と言う動物たちの言葉が、低学年なりの自分探しの視点になっている。	
1308	かえるのどびん 教育画劇 1,155円 野村 たかあき/作	いつも負けてばかりのどびんだが、自分にもできるものがあるはずと、遠くの村の競技に出かけて行く。やっぱり負けてしまうが、村の者はどびんの頑張りを称える。挑戦することの素晴らしさを考えさせてくれるお話。	
		推奨図書選定理由 リズム感のある詩のような文章から、挑戦することを諦めないどびんの気持ちや周りの様子が、とても良く伝わってくる。また、テンポ良く歌うように読み進められるので、読みやすい。	
1309	がまんのケーキ 教育画劇 1,050円 かがくい ひろし/作・絵	イチゴののったおいしそうなケーキを目の前にして、けろこさんを待っているかめぞうさんとこいたろう。よだれタラタラ、がまん限界の二人が、とうとう誘惑に負けて食べようとした時、けろこさんの手紙を見て思いとどまる、ほのぼのとしたお話。	
		推奨図書選定理由 よだれタラタラ、がまん限界の二人の会話がユーモアいっぱいでおもしろい。けろこさんの手紙を見て、食べようとしたことを素直に反省している様子もいじらしく、まさに子どもたちの心理を投影しているようで共感できる。	
1310	ゴリラのウーゴ ひとりでおつかい ポプラ社 945円 磯 みゆき/作 つちだ よしはる/絵	「きっと、なんでもひとりでできちゃうんだよ！」と、初めてのお使いにでかけて一週間。ウーゴは森で嵐にあい、道に迷ってしまった。助けてくれたやまあらしのアラシと友だちになり、一人じゃできないことがあることを知っていく。	
		推奨図書選定理由 外見で嫌われたり怖がられたりしていたやまあらしのアラシとゴリラのウーゴ。友だちになった二人を通して、自他の良さを認めあい、一人じゃできないことがあること、友だちがいることの楽しさを読みとらせたい。	

平成22年度埼玉県推奨図書審査票

〔対象区分：小学校中学年向け〕

諮問番号	図書名等	内 容	推奨の有無
1311	からほり亭で漫才！ 文研出版 1,365円 藤田富美恵/作 古味正康/絵	大阪の空堀商店街が舞台。なかよし同級生の美喜と朋子は、一人暮らしのおばあさんにけがをさせてしまい、夏休みに、住みこみでおばあさんの手伝いをするに……。二人とおばあさんのやりとりから生まれる心の通いあいが楽しい。	
		推奨図書選定理由	
		一人暮らしのおばあさんが二人の少女と住むことになり、孤独な心が癒されていき、子どもの頃の夢を思い出す。その間のおばあさんと、二人のやりとり、商店街の人とたちとの交流に温かさを感じる。大阪の人情や漫才を愛する心を埼玉県の子どもたちにも伝えたい。	
1312	玉子の卵焼き 文溪堂 1,365円 上條さなえ/作 陣崎草子/絵	双子の妹の玉子は、勉強も運動も苦手。友達としょっちゅうけんかもする。でも、人並み以上の味覚と臭覚を持っている。そんな玉子がある大会にでることに……。玉子を応援する家族の温かさが伝わる。	
		推奨図書選定理由	
		天真爛漫な双子の妹に振り回される兄。なかなか玉子のいいところを見つけられなかった兄が、様々な出来事を通して、玉子のいいところを発見していく。玉子が、元気があって、ユーモラスで魅力ある登場人物として描かれていて、楽しく読める。勉強や運動ができなくても、一人一人の個性を大切にすることの良さが伝わってくる。	
1313	ワンガリの平和の木 BL出版 1,470円 ジャネット・ウインター/作 福本友美子/訳	緑豊かなケニアの村から木が消えた！緑を取りもどそうと、ワンガリ・マータイさんは、まず9本の苗木を植えた。ノーベル平和賞受賞者のワンガリ・マータイさんの伝記絵本。	
		推奨図書選定理由	
		「もったいない」の言葉を世界に広めたノーベル平和賞のワンガリ・マータイさんの伝記絵本。一人の女性に強い意志が、村の人たちから他の村の人のひとたち、そして世界へ広がっていく様子が、美しい絵と簡潔な文章で伝わってくる。地球環境を守る気持ちを育てるという視点からも子どもたちに読ませたい。	
1314	1つぶのおこめ 光村教育図書 1,995円 デミ/作 さくまゆみこ/訳	インドの昔話。けちな王様をこらしめようと、算数のひらめきで村を救った女の子のお話。イラストも美しく、算数ざらいな子も楽しめる。1つぶのおこめから始まる数の不思議さも味わえる。	
		推奨図書選定理由	
		インドの算数の昔話。けちな王様をこらしめようと、算数のひらめきで村を救った女の子の話。楽しみながら、算数のおもしろさ・不思議さを感じられる。絵本としての質も高く、金色を効果的に使った左右に広がるパノラマのイラストは迫力がある。	
1315	たんぼのおばけタニシ そうえん社 1,365円 大木淳一/写真・絵	日本各地の田んぼに見慣れないピンクの卵が出現する。巨大に育つ外来種のタニシの卵だった。田んぼの外来種問題と向き合う農家のおじいさんを追った写真絵本。	
		推奨図書選定理由	
		日本人の食生活を支えるお米の田んぼに外来種のタニシが侵入してきた。派手なピンク色の大タニシが田んぼに繁殖している様子に驚かされる。不用意に外来種を捨てることで、生態系をこわしてしまうことを警告する写真絵本。環境問題を考える上でも有効。こどもたちにも、この現実を目をむけてほしい。	

平成22年度埼玉県推奨図書審査票

[対象区分: 小学校高学年向け]

諮問番号	図書名等	内 容	推奨の有無
1316	吾妻の白サル神 国土社 1,365円 戸川幸夫/著	動物たちをテーマにした動物文学です。吾妻山脈にすむ大ザルの物語「吾妻の白サル神」、人間にまで危害を加える固めのカラスの物語「左膳ガラス」など、動物と人間の心の交流が描かれています。あなたも動物と友だちになりませんか。	
		推奨図書選定理由 人間と動物の心の交流をきびしく、あたたかく描く戸川幸夫の作品。「白毛」のサルときこりの心の交流が描かれた話や片目片足のカラスが見せる勇敢な姿を見守る人間の心を丁寧に表している話等がある。少し、難しい感じを受けるが、「大造じいさんとがん」の学習をした子ども達には、なじみやすい話である。動物と人とのつながりを考えさせる3つの物語が入っている。	
1317	タイムチケット 福音館書店 1,260円 藤江じゅん/作 上出慎也/画	マサオは4月4日生まれ。昭和44年4月4日の切符がほしくてたまらない。そんなある日、「タイムチケット」を手に入れたマサオが行きたい日付を書いて見ると、なんと！一瞬で過去へ到着！さあ、何が起こるのでしょうか。一緒にタイムスリップしてみませんか。	
		推奨図書選定理由 めずらしいキップを集めるのが大好きな4月4日生まれの男の子が昭和44年4月4日にタイムトラベルするお話。過去で自分のお父さんに出会ったり、動物病院の院長先生に会ったり…様々な体験をして、現実へと戻ってくる。現実と昔を比べながらのお話が興味深く、子どもが楽しめる物語である。	
1318	にいちゃんの手紙 講談社 1,260円 城島充/著	1995年1月17日、兵庫県南部を襲った阪神淡路大震災で、多くの尊い命が失われました。小学校1年生だったお兄ちゃんが残した手紙を背負って入学した凜君。あたたかい家族のきずなと命の大切さが心に伝わってくる一冊です。	
		推奨図書選定理由 阪神淡路大震災で亡くなった小学校1年の漢之君との思い出を大切にしながら過ごす家族と、お兄ちゃんの手紙を背負い登校する弟の凜君の強い姿が書かれている。震災の様子や、強く生きる家族の姿も丁寧に書かれている。現在は、さいたま市に住んでいる家族のノンフィクションである。	
1319	野生動物のお医者さん 講談社 1,155円 齊藤慶輔/著	釧路湿原の中にある野生生物保護センターで絶滅の危機にひんした動物を治療する獣医師、埼玉県生まれの齊藤さん。傷の治療がゴールではなく「野のものは野に帰してやりたい」と言います。動物と人とのつながり…見つめてみませんか。	
		推奨図書選定理由 釧路湿原の森の中にある野生生物保護センターで、絶滅の危機にひんしたオオワシやシマフクロウなどの猛禽類を治療する獣医師が教えてくれる野生動物の現状や命の重み。「野のものは野に帰してあげたい」という言葉も心に響くよい作品である。	
1320	ダーウィン BL出版 1,680円 アリス・B・マクギンティ/文 メアリー・アゼリアン/絵 千葉茂樹/訳	チャールズ・ダーウィンを知っていますか。『種の起源』で知られる偉大な科学者です。自分の考えや疑問点をノートに書きながら誰にも見せなかったダーウィン。科学への情熱を注ぎ、信念を貫いたダーウィンの伝記絵本です。	
		推奨図書選定理由 『種の起源』で知られるダーウィンの生涯を描いた伝記絵本である。新学習指導要領にも高学年は「伝記」を読むことが明記されているので、伝記を読む入り口になるよい絵本である。ノートやメモ、手紙形式で記されたダーウィンの数々の言葉や情熱は読む人に勇気を与える。	

平成22年度埼玉県推奨図書審査票

〔対象区分〕 中学校向け

諮問番号	図書名等	内 容	推奨の有無
1321	ジェイミーと走る夏 ポプラ社 1,470円 エイドリアン・フォゲリン/ 著 千葉茂樹/訳	白人の少女キャスの家の隣に引っ越してきた黒人のジェミー一家。キャスとジェミーは走ることで意気投合していく。しかし、黒人への偏見を持つキャスの父親とそれに批判的なジェミーの母親の対立で、両家の溝は埋まらない。キャスとジェミーの交流を通して変わっていく周囲の人々を描く。	
		推奨図書選定理由 白人の少女キャスの家の隣に引っ越してきたジェミー一家。キャスとジェミーは走ることで意気投合していく。しかし、黒人への偏見を持つキャスの父親とそれに批判的なジェミーの母親の対立で、両家の溝は埋まらない。人種問題を物語の中に含みながらジェミーとキャスの交流で変わる周囲の人々を描く。私自身が走るが好きだから、二人が心を通わずでにそれほど時間がかからないことにもうなずける。それほど、走る(体を動かす)ことは心の動きにつながっている。黒人が隣人であることを拒絶する父の行動を真っ向から否定できない主人公の生きた時代…今もそうなのかもしれないが…人が人らしく呼吸ができる瞬間が走ることなのかもしれないと考えさせられた。	
1322	犬たちをおくる日 金の星社 1,365円 今西乃子/著	処分されることを承知してここに飼い犬を持ち込む家族。二酸化炭素で殺され焼却炉で焼かれる犬たち。こんな命を一頭でも減らす社会を目指して活動する愛知県動物愛護センター職員の日常を追うノンフィクション。命の尊さ、人間の責任についてじっくり考える時間が得られる。	
		推奨図書選定理由 捨てられ処分される命を一頭でも減らす社会を目指して活動する愛知県動物愛護センター職員の日常を追うノンフィクション。カラーページに載せられているのは、かわいらしい犬たちの写真。しかしその左側には、二酸化炭素で殺され、焼却炉で焼かれる写真が並んでいる。処分されることを承知してここに飼い犬を持ち込む家族の存在に驚く。全体に流れる「命の尊さ」、人間の責任の重さ、命を奪われる犬たちが少なくなるようにしていきたいという強い思いが伝わってくる。	
1323	命をつなぐ250キロメートル 抱きしめてBIWAKO 童心社 1,575円 今関信子/作	日本一の湖、琵琶湖を25万人の人が手をつないで囲む「抱きしめてBIWAKO」というイベント。それは、障がい児施設「湖学園」の引っ越しのために行われる。家族に捨てられ、児童養護施設「南学園」に入った少女咲が、イベントに関わりながら新しい出会いを通じ、自分の場所を見つけしていく感動の話である。	
		推奨図書選定理由 重症心身障害児養護施設で暮らす子どもたちも共に生きる社会を作ろうという「抱きしめてBIWAKO」の運動に関わった方々の活動から生まれた本。親と暮らせない、たった一人の姉に見放された主人公が、空しい心を抱えながらも人と関わることで生きる喜び、自分も誰かに必要とされているという思いを得ていく。泣けた。	
1324	たまごを持つように 講談社 1,470円 まはら三桃/作	3年生1名、2年生3名だけの中学校弓道部。不器用な早弥、天才肌だが問題児の実良、アメリカ生まれのハーフの春。個性の違う2年生3人がスランプを克服し、1年後に団体戦に勝利するまでを描く。心の中を表現する言葉を味わって読める一冊。	
		推奨図書選定理由 部員が、3年生1名、2年生3名だけの中学校弓道部。不器用な早弥、天才肌だが問題児の実良、アメリカ生まれのハーフの春。個性の違う2年生3名がスランプを克服し、1年後に団体戦に勝利するまでを描く。最近良く見かけるスポーツ物だが、弓道はめずらしい。やや軽い展開だが、爽快感があり、推薦したい。	
1325	龍の腹 くもん出版 1,575円 中川なをみ/作	鎌倉時代。太郎は焼き物の技術を学びたい父と共に宋に渡り、希龍と名前を変えて、父の代わりに窯元に弟子入りする。腕の良い陶工に成長した希龍は、宋と元の戦いに巻き込まれていく。	
		推奨図書選定理由 鎌倉時代。8歳の太郎は、焼き物の技術を学びたい父と共に宋に渡り、希龍と名前を変えて、父の代わりに龍泉の窯元に弟子入りする。腕の良い陶工に成長した希龍は、宋と元の戦いに巻き込まれていく。主人公を始めとする少年少女たちの行く末にハラハラしながら読み進むことができる。	

平成22年度埼玉県推奨図書審査票

〔対象区分：高校・青年向け〕

諮問番号	図書名等	内 容	推奨 の
1326	フリーター、家を買う 幻冬舎 1,470円 有川 浩/著	入社3カ月でフリーターとなった息子が鬱病になってしまった母のために一念発起して再就職を目指す。家を買ってこの場所から母を救いだすと。生きることは、働くことは、そして家族の絆とは。熱い感動を覚え、勇気が出る作品。 推奨図書選定理由 経理の鬼といわれた昔気質の父と相反するフリーターの息子。近所との軋轢に心を病んでしまった母の看護を通して壊れかけた家族の絆を再生してゆく。働くこと、生きることを自分のこととしてだけでなく、家族のこととして向き合おうとする主人公の頑張りにも勇気をもらおう若者も多いのではないだろうか。これから社会に巣立つ青少年にぜひ読んでもらいたい。そして、「生きること」「働くこと」「家族とは何か」を考えてもらいたいと願い推薦する。	
1327	ミムス 宮廷道化師 小峰出版 2,520円 リリタール/著	モンフィールの王子フローリンは謀られ、敵国の宮廷道化師として屈辱的な日々を送るはめになる。それが捕虜となっている父王たちを救う手立てでもある。先輩道化師のミムスから学ぶ「己の心を殺し、当意即妙な道化を演じること」中世ヨーロッパの異文化体験が目の前に広がる。さて、王子の運命は？ 推奨図書選定理由 日本人にあまり馴染みのない中世ヨーロッパ社会が演劇のように大きなスケールで広がる。残酷な封建国家の中で、善悪、人の生死、身分の上下差別を超える道化師の生き様に、物悲しくも共感を覚える。話の展開が面白く、思わず引き込まれる。読み応えがあり、異文化体験ができる。読書の楽しさ、面白さを教えてくれる作品として推薦したい。	
1328	草原の風の詩 西村出版 1,575円 佐和みずえ/著	明治36年、日露戦争開戦時の日本。日蒙親善のためモンゴル・カラチン王朝に女子校開設の任を負って渡った河原操子の史実に基づく作品。時代に翻弄される主人公。歴史の陰で、国境を越え、国際親善に心血を注いだ日本女性の姿を描いた作品。 推奨図書選定理由 日蒙親善のため、モンゴルの女子教育に尽力した河原操子の史実に基づき、話が展開する。その意図とは逆に日本の大陸進出の野望に翻弄される主人公。当時としては考えられない日本人女性の生き方に引き込まれるように読んでしまう作品であり、著者の感性の豊かさに何度も心を揺さぶられる。是非、高校生・青年に推奨したい作品である。	
1329	神様のカルテ 小学館 1,260円 夏川草介/著	夏目漱石と妻をこよなく愛する地方病院の内科医師、栗原一止と彼の周辺の人々をめぐる優しさにあふれた作品。最先端医療の大学病院に行くか、地方病院での日常かの選択に迫られた彼の決断とは？人間の優しさ、生き方、死に方を自分に問いかけたくなる感動の一冊。 推奨図書選定理由 一貫して暖かさや優しさに包まれた作品である。また医療が救うのは人か、心かという話題性のあるテーマも問いかける。本当の人間の優しさとは何なのか、よい死に方とはあるのだろうか、自分はこう生きたい、こう死にたいときまざまな思いが心を巡る。ぜひ高校生、青年に読んでもらい自分を見つめ直すきっかけにしてもらいたいと思う。	
1330	虎と月 理論社 1,470円 柳 広司/著	中島敦の「山月記」を基に、虎になったという父の真相を探るために息子が旅に出る奇怪譚。馴染みがたい中国の伝奇小説を現代風にアレンジした作品。 推奨図書選定理由 高校2年で誰もが教科書で読む「山月記」。なぜ、どのように父親は虎になったのか。著者の柳広司は父親の残した漢詩の韻のトリックによってこの謎解きをしていく。物事の真実とは何かを考えさせられると同時に、古典の堅苦しいイメージを一掃し楽しく読むことができる作品である。読み終わると又中島敦の「山月記」が読みたくなる。杜甫にも興味が湧き、古典への導入の役割を果たす一冊にもなりえると考え、推薦したい。	